

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス 紅葉 夢のみらいスタジオ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 17日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会に加入し、毎月行われる定例会に出席している。</li> <li>・相談支援事業所や、学校、児童発達支援事業所、スクールソーシャルワーカー等と電話でのやりとりや、会議の実施等により、情報共有を行い、連携を取りながら支援にあたっている。</li> </ul>	更に連携を深める。
2	豊富なプログラム内容。	季節の行事、外出活動をメインに日替わりで充実したプログラムの立案と実施を行っている。体操教室、スポーツチャンバラのプログラムについては、外部から専門の講師を招いている。	子ども達から「やりたいこと」「行きたい所」を聞き、プログラムに反映させる。
3	笑顔で安心できる居場所。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもに寄り添った支援の実施。</li> <li>・支援を行う大人が笑顔を絶やさないように心掛けている。</li> <li>・「楽しい」と感じられる活動内容にしている。</li> </ul>	寄り添ってくれる人がいる、自分を受け入れてくれる場所があると子ども達の実感できる環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後クラブや児童間との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	公園遊びで地域の子ともと一緒に遊ぶことはあるが、それ以外では放課後クラブも含め、交流する場がない。	児童館のイベントに参加する。
2	保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場がない。	保護者が事業所に集まるような行事(保護者会等)の実施を行っていなかった。	まずは、保護者会の開催を行う。子育ての悩み等を打ち明ける時間を作り、交流の場を設ける。
3	スペースの問題で、思い切りボール遊びをしたり、身体を動かすことが難しい。	指導訓練室がコンパクトである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な物のみを置く等して、のびのびと活動できるよう努める。</li> <li>・狭いスペースを有効利用できるプログラムや、外出支援等を増やしたプログラムを実施する。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス紅葉 夢のみらいスタジオ
------	----------------------

公表日 年月日 令和7年3月

利用児童数 令和7年3月1日 26名

回収数 21

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2	1		活動スペースと宿題をするスペースが区切られている。 少し狭い気がする。	ハード面を広げることは難しいが、必要なもののみを置く等して対応する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		2	十分な職員配置で、細かいところまで見守ってくれている。	継続していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			子どもの性格等を、よく理解している。	継続していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1			子どものことをよく見て、目つ親の希望も取り入れながら支援計画を作ってくれている。	継続していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				色々なプログラムや季節、行事に合った物になっている。いつも楽しそうなプログラムを企画している。	継続していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	2	6		状況により機会を作っていく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				契約時に説明があった。分からない事はいつでも問い合わせしてほしいと言う声掛けがあった。	継続していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	2	2		必要に応じて面談や相談を行っている。 自立支援協議会主催の研修会のご案内を行っている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	2	6		今後、保護者会等、保護者同士が連携出来るパイプ作りの機会を設けていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1	急な送迎の変更等、いつも丁寧に対応してもらっている。	継続していく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19		1	1		毎月、通信を発行し、行事の案内や活動の様子、写真を掲載している。 活動の様子はインスタグラムにも掲載している。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			3	契約の際に、説明があった。	継続していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		2	定期的に、避難訓練をしている。	継続していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1	丁寧に説明してくれる。	継続していく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1			先生方に信頼をおいている。 子どもは先生やお友だちのことが大好きで、安心している様子。	継続していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			特に土曜、祝日は色々な場所に出掛けることを楽しみにしている。 泊まりたいと言うほど楽しみにしている。	継続していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			とても満足している。親子共々、寄り添って支援してもらえることに感謝している。	継続していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス紅葉 夢のみらいスタジオ		公表日		令和7年3月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4		ブレイルーム、学習室共に狭い。クールダウンスペースを設ける場所がない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		他害やパニックを起こす児童がいる際は、安全面を考慮し、あと1名配置ができるとう良い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	扉を各エリアに設け、構造化をし、機能を分かりやすくしている。	事業所が2階でエレベーターがない為、車いすの対応は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		職員室で過ごせるようにしている。	継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後、検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを行って、子どもや保護者のニーズをくみ取り、その上で子どもの行動を分析して個別支援計画を立てている。	継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		検討会議を行い、職員全員が意見を出し合って個別支援計画の作成を行っている。	継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		保育士や児童指導員に個別支援計画書の内容を全て開示し、説明を行ったうえで適切な支援を実施している。また、日々のミーティングでプログラムの内容などを確認し支援にあたっている。	継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の行事、外出活動をメインに新しい物を積極的に取り入れ、日替わりでプログラムを実施している。	継続していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	子どもの特性に応じて、集団活動での支援と個別での支援等を考え、個別支援計画を立てている。	継続していく。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		PC上にてケース記録として記載。その日の出来事を確認できるようにしている。必要に応じて終了後にもミーティングを実施している。	継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		PC上にてケース記録として記載。	継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	コミュニケーションをとることが難しい児童に関しては、絵カードや写真を活用して自己選択をしている。	継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が出席している。	継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		相談支援事業所、学校、併用している事業所等と担当者会議を実施し、情報共有を密に行っている。	継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		児童発達支援事業所に訪問し、情報共有を行っている。	継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	該当者なし	該当者がいる際は、連携を図っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	児童発達支援センターでの研修を受講した。	今後、更に積極的に連携を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		今後、交流する機会を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		月に1度の会議への出席、イベントの手伝いに参加している。	継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や、電話、面談を通して情報共有を行っている。	継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	自立支援協議会主催の研修のご案内を行っている。	ペアレント・トレーニングについては今後実施していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現在できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月に一度通信を発行している他、インスタグラムで活動の様子を発信している。	継続していく。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者には電話もしくは対面にて、口頭で伝達している。	継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	ハロウィンの仮装パレードでは地域のお店を回ったり、地域のお店で買い物練習を実施している。	継続していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			家族へは口頭のみでの周知となっている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時にフェイスシートを用いて確認している。	継続していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		医師の指示書はいただいていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		家族への周知は行われていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々のミーティングや会議で情報共有、再発防止に向けた方策を話し合っている。	継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			